

SAKITA Innovation Journal vol.1

挑戦を恐れず、失敗を学びに ～生徒の主体性育成×職員の働き方改革～

PDについて改めて考えてみよう

通常は7校時ですが、1週間に1日、6校時終了で放課とする日を設定して、生徒の皆さんが自由に使える時間を確保します。生徒自身が企画した研究活動や講座の設定、クラスや学年の枠も超えたさまざまな主体的活動を支援します。【学校案内より】

PDは年間を通して35時間分の授業をカットして行っています。35時間分って…もちろん、それぞれの授業を一コマずつカットするわけですから、ある特定の教科が35時間分できなかつたというわけではありません。その時間を君たちはどう使っているのでしょうか？

12月を控えた今、改めて、今までのPDをどう使っていたのかを振り返りましょう。

ここで君たちに意識してほしいことをもう一度、まとめておきますので、参考にしてください。

まずは意味ある時間にするために、その時間を何のために使うのか、そのために何をするのがいいのかを自分で考えることです。それは何をしてもいいと思います。もちろん、少し疲れがたまっているので、早めに帰宅して、次の日からのエネルギーを蓄えることを自分で決めればいいのです。自分で決めたことなので、責任が伴うことになります。その翌日がどうだったのかなどの検証は必要ですね。この検証のような「振り返り（リフレクション）」が非常に重要です。振り返りには客観的視点も必要になります。PDの活動だけでなく、何に対しても「振り返り」は重要です。振り返りに関するポイントも参考にしてください。

【PDに関する重要な3つのポイント】

- ①何かの目的をもって、デザインした時間にすること
- ②見通しをもって、自分で決めること
- ③そこでの活動を振り返ること

【PD振り返りのポイント】

- ①自分が意識して、自分の行動を選択したか
- ②自分の現状分析をした上で、それを踏まえた選択か
- ③自分をプラスに向ける選択か



佐世保ヴィンテージとの協働 (2024. 10. 29)

自分でやっていくことが基本になりますが、PD企画に参加することも一つの方法です。興味があること、ないことでもやってみることで何かしら新たな気付きがあると思います。まだ残り17時間分PDはあります。しかも12月以降はほぼ毎週あります。ここから巻き返すことも可能です。年内の予定されているスケジュールもvol.2でお知らせしますので、確認して、まずはやってみましょう！

この活動は佐世保エコラボと長崎県立大学がコラボして活動している「佐世保ヴィンテージ」に佐世保北高生が参加したものです。捨てられるものをリデザインしてリメイクしたものを県立大学の学園祭で希望者に譲渡しました。環境についての講義、作品制作、譲渡会、振り返りの会と盛りだくさんな素敵な企画でした。